

## 令和4年度3学期始業式（中学）

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく申し上げます。今日から新しい年が始まります。「1年の計は元旦にあり」と言いますから、皆さんは今年1年の目標を見据え、その実現に向けて努力しようと決意を新たにしていることと思います。

学校も1年の総まとめの時期を迎えました。特に3年生は中学校生活の総決算をするわけです。現在のところオーストラリア・ホームステイ語学研修を実施する予定です。わくわくしていることと思います。しっかり準備をして、たくさん学べた、感動があった、心から良かったというものにし、高校へと良い形で進んでほしいと思います。とにかく、それぞれが充実した日々を過ごし、成長できたというものを1つでも多く作りましょう。

皆さんは2学期も授業や行事など様々な活動を通して「努力が報われた」「友だちとの絆が深まった」「クラスのまとまりが良くなった」などたくさんの宝物を手に入れたことと思います。しかし、ともすれば身近にある大切なものに気づかなかつたり、そのありがたみを軽視しがちです。ある昔の歌の歌詞に「無いものねだりするよりも、あるものを数えていけば良い」とありました。「なるほど」と気持ちが少し軽くなった記憶があります。

私たちは「ある」ものには鈍感で、「ない」ものには敏感です。「～がない」「～もない」「～してもらえない」。学校に当たり前のように登校し、家に帰ると食事があり、寝る布団があり、家族がいても「ないもの」に目が行きがちです。それでつい愚痴や不満を言い、マイナスの方向に考えがちです。

「人に何をしてもらおうか」ではなく、「人に対し何ができるか」を考えましょう。簡単なことから良いのです。「こんにちは」と挨拶したら笑顔で「こんにちは」と挨拶される。落としたものを拾ってあげたら「ありがとう」と感謝される。どんなにか気持ちが良いのでしょうか。与えられることだけを求めるのではなく、与えることの喜びを知ること、そうして人は幸せになるものなのです。そのことを心に刻んでおいて下さい。

ところで、皆さんの中にはカンボジア・ベトナム国際研修に参加した人が何人もいます。私も3年前にカンボジア・タイ国際研修の引率をしましたが、両国とも戦争や独裁政権のために多くの犠牲が出て、悲惨な目に遭ってきました。今も特にカンボジアは影響があるわけです。学校に行けない子供、若者たち、幼い子が観光客相手に物を売っている。農村に行くと水道・下水道、トイレもない家にすんでいる人が多く、家の手伝いで忙しく、学校も行けないし、働きにも行けない、貧困の連鎖です。皆さんにとって「ないもの」がたくさんあるわけです。しかし、少なくとも私があった人々はたくましく生きている、置かれた環境に負けていない、笑顔も見せている、人の幸せとは何なのかということも考えさせられました。彼らは日本から言えば「ないもの」が、たくさんあ

るわけです。しかし、まさに「あるもの」を大切に生きています。後ほど報告会があると聞いていますが、参加した人の感想を楽しみにしています。

では、話は戻ります。皆さんの3学期の総まとめとなる過ごし方、よく見えています。失敗もあるでしょう、上手くいかないこともあるでしょう。それは当然のことです。失敗、上手くいかないことがないと人は成長しません。しかし、次はどうしたらよいか、よく考え、負けずに前に進むことが大切です。3学期が終わった時の皆さんの成長ぶりを楽しみにしています。